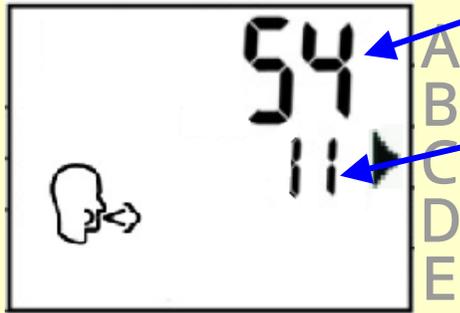


ハイ・チェッカー 測定結果の見方

1. 測定直後 ① 肺年齢の表示



肺年齢

測定で得られたあなたの肺年齢です。

実年齢との差

= 肺年齢 - 実年齢
この場合は、実年齢より肺年齢が 11 歳上という意味

肺年齢とは？

肺の機能は歳とともに低下していきませんが、肺年齢とは、「その人と同じ身長・性別だったら何歳の人の肺機能に相当するのか？」を示すものです。1 秒量を測定して算出します。

実年齢よりも 19 歳以上高い肺年齢が出た人の、89.5%に何らかの肺機能異常がある可能性があります。

$$\text{男性：肺年齢} = (0.036 \times \text{身長(cm)} - 1.178 - \text{FEV1(L)}) / 0.028$$

$$\text{女性：肺年齢} = (0.022 \times \text{身長(cm)} - 0.005 - \text{FEV1(L)}) / 0.022$$

1. 測定直後 ② 肺機能評価グループ



肺機能評価グループ

- A : 異常なし
- B : 境界領域
(現状では異常なし)
- C : 肺疾患の疑い
〈要精検〉
- D : COPD の疑い
〈要経過観察 / 生活改善〉
- E : COPD の疑い
〈要医療 / 精検〉

詳細コメント

A: 肺疾患の可能性は低いです。同姓同年代の平均値に比べて数値がよく、今後も定期的な呼吸機能検査を続けて健康を維持して下さい。

B: 同姓同年代の平均値に比べ数値がやや悪く、今後も定期的な呼吸機能検査を続ける必要があります。

C : COPD の可能性が低いですが、同姓同年代の平均値に比べて数値が悪く、他の肺疾患の疑いがあります。専門医による検査が必要です。

D : 軽症 COPD の疑い。現段階で自覚症状が無くても放置すると重症化する恐れがあります。専門医による再検査が必要です。

E : 中等症以上の COPD の疑い。専門医による再検査が必須です。適切な治療を早期に行う事で症状を改善し、疾患の進行を抑制することができます。

▲
押す

2. 1秒量 FEV1



1秒量

測定されたあなたの1秒量 (単位:L)です。

予測値に対する%

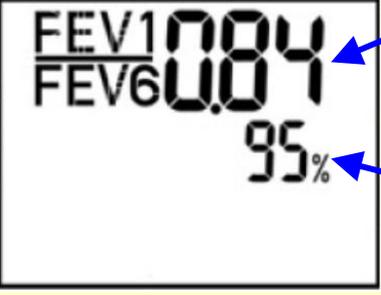
あなたの1秒量が予測値に対して%なのか？を示します。正常は 80%以上

1秒量 (FEV1) とは？

これ以上息を吸うことができない状態 (最大吸気位) から、できるだけ速く息を吐き出 (努力呼出) したときの、最初の 1 秒間に吐き出すことのできた息の量のこと。喘息や COPD などの閉塞性疾患 (気管が細くなり息を吐き出し難くなる病気) の、重症度などの判定に重要です。

身長・年齢・性別から得られる予測値 (標準値) に対する%で評価します。この予測値に対する%を「%FEV1」と表記し、80%以上が正常。

ハイ・チェッカー 測定結果の見方

<p>3. 6秒量 FEV6</p>  <p>▲ 押す</p>	<p>6秒量(FEV6) 測定されたあなたの6秒量(単位:L)です。</p> <p>予測値に対する% あなたの6秒量が予測値に対して%なのか?を示します。</p>	<p>6秒量(FEV6)とは? 最大吸気位から、努力呼出したときの、最初の6秒間に吐き出すことのできた息の量のこと。健康な人の場合は、(努力)肺活量(FVC)とほとんど変わらないが、COPDなどの閉塞性疾患の場合、6秒間で吐き出せる量(FEV6) < 努力肺活量(FVC)となる。</p>
<p>4. FEV1/FEV6</p>  <p>▲ 押す</p>	<p>1秒率 (FEV1/FEV6) 6秒間で吐き出せた量に対する最初の1秒間に吐き出せた量の割合:0.73以上が正常。</p> <p>予測値に対する% あなたの1秒率が予測値に対して%なのか?を示します。</p>	<p>1秒率 (FEV1/FEV6) 喘息や COPD などの閉塞性疾患(気管が狭まり息を吐き出し難くなる病気)の判定に有用な一秒率(FEV1/FVC%)の代わりにFEV1/FEV6が代用できる。一秒率(FEV1/FVC%)では70%以上が正常とされるが、このFEV1/FEV6では、0.73以上が正常。</p>
<p>注意 !</p>  <p>ピーという長音と!が表示されたら、正しくない測定だったという意味です。</p>	<p>原因</p> <ol style="list-style-type: none"> 吹き終わりの頑張り不足 ⇒ 最後まで頑張って吐き切って下さい。 吹き始めが、ゆっくり始めてしまった。 ⇒ これ以上吸えなくなるまで吸ったらくわえて、直ぐに一気に吐いて下さい。 	<p>一番多い“!”の原因 と コツ</p> <p>!が表示される一番多い原因は、6秒間吐き続けた最後の部分の頑張り不足です。普段「これ以上吸えない」くらいに息を吸うことはあっても、「これ以上吐き出せない」というところまで息を吐くことはほとんどないので、なかなか難しいかもしれません。</p> <p>コツ 健康な人の場合、最初の1秒で80%くらいは吐き出してしまい5秒を過ぎたあたりは本当に少しの息しか出ていないことが多いのですが、そこで止めずに「ピッピッ」というまで頑張って息を吐いて下さい。</p>

※ 測定後に左側の ▲ ではなく右側の ▼ を押すと、1→4→3→2という順番で表示が変わります。